

第7回

日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越支部学術集会

JS
PEN

プログラム・抄録集

テーマ

よ
早く快くなりますように



会期 2019年 9月29日(日)

会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

会長 小山 諭 新潟大学大学院保健学研究科 教授

事務局 新潟大学大学院保健学研究科内

〒951-8518 新潟市中央区旭町通2番町746番地
TEL: 025-227-2361 FAX: 025-227-2361



第7回

日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越支部学術集会

プログラム・抄録集

よ
テーマ 早く快くなりますように

会期 2019年 9月29日(日)

会場 朱鷺メッセ
新潟コンベンションセンター

会長 小山 諭
新潟大学大学院保健学研究科 教授

第7回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会事務局
新潟大学大学院保健学研究科内

〒951-8518 新潟市中央区旭町通2番町746番地
TEL:025-227-2361 FAX:025-227-2361

会長挨拶

第7回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会

会長 小山 諭

新潟大学大学院保健学研究科 教授



この度、第7回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会を2019(令和元)年9月29日(日)新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセにおきまして開催させていただくことになりました、新潟大学の小山 諭でございます。今回、新潟の地で関東甲信越支部学術集会を開催させていただくことを大変光栄に感じております。

我々、栄養に関わっている者はNSTを始めとする多職種連携を通して、病いを患っている患者さんのために、それぞれの職種の特徴を生かしたアプローチを行い、患者さんの回復を目指していると思います。我々は栄養療法がとても効果的であることも知っておりますが、その反面、限界を感じることもあるかと思えます。栄養療法が疾患そのものに対する直接的な治療ではない場合も多いからです。しかしながら、適切な栄養管理を行わないと、疾患そのものの治療効果が得られにくいことや全身状態の悪化に陥ることもよく経験しております。疾患を治癒させる直接的な手段ではないかもしれませんが、我々は患者さんの回復を支えるために栄養療法を行っております。その根底で我々の思っていること、それはすべての職種に共通している願い、「患者さんが少しでも早く回復すること」だと思います。

今回の研究会ではそのような我々の気持ち『早く快(よ)くなりますように!』をテーマといたしました。できるだけ多くの医師・研究者・メディカルスタッフの方々に参加していただき、患者さんの回復に向けた皆さまの成果を発表していただきたいと思えます。議論を通じて多くの仲間と知り合い、今後の研究や医療に役立てて頂けるような学術集会となるよう努力してまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。本学術集会が実りあるものになることを祈念し、皆様方の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に皆様方のますますのご発展をお祈り申し上げます。

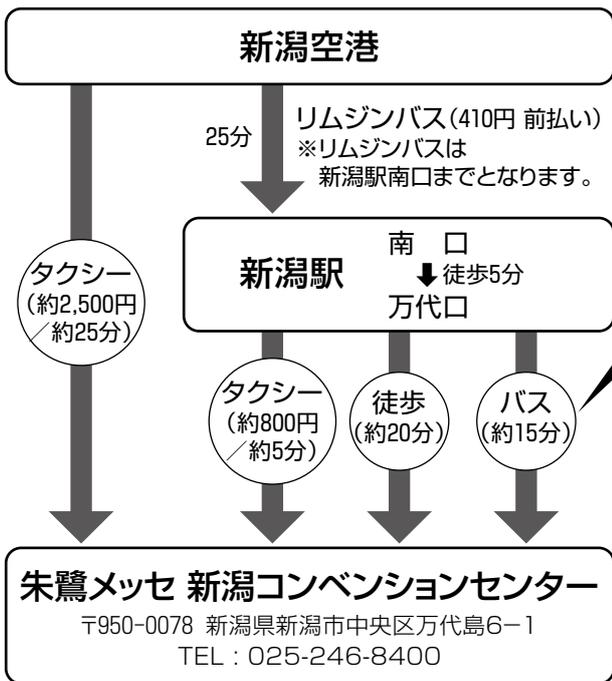
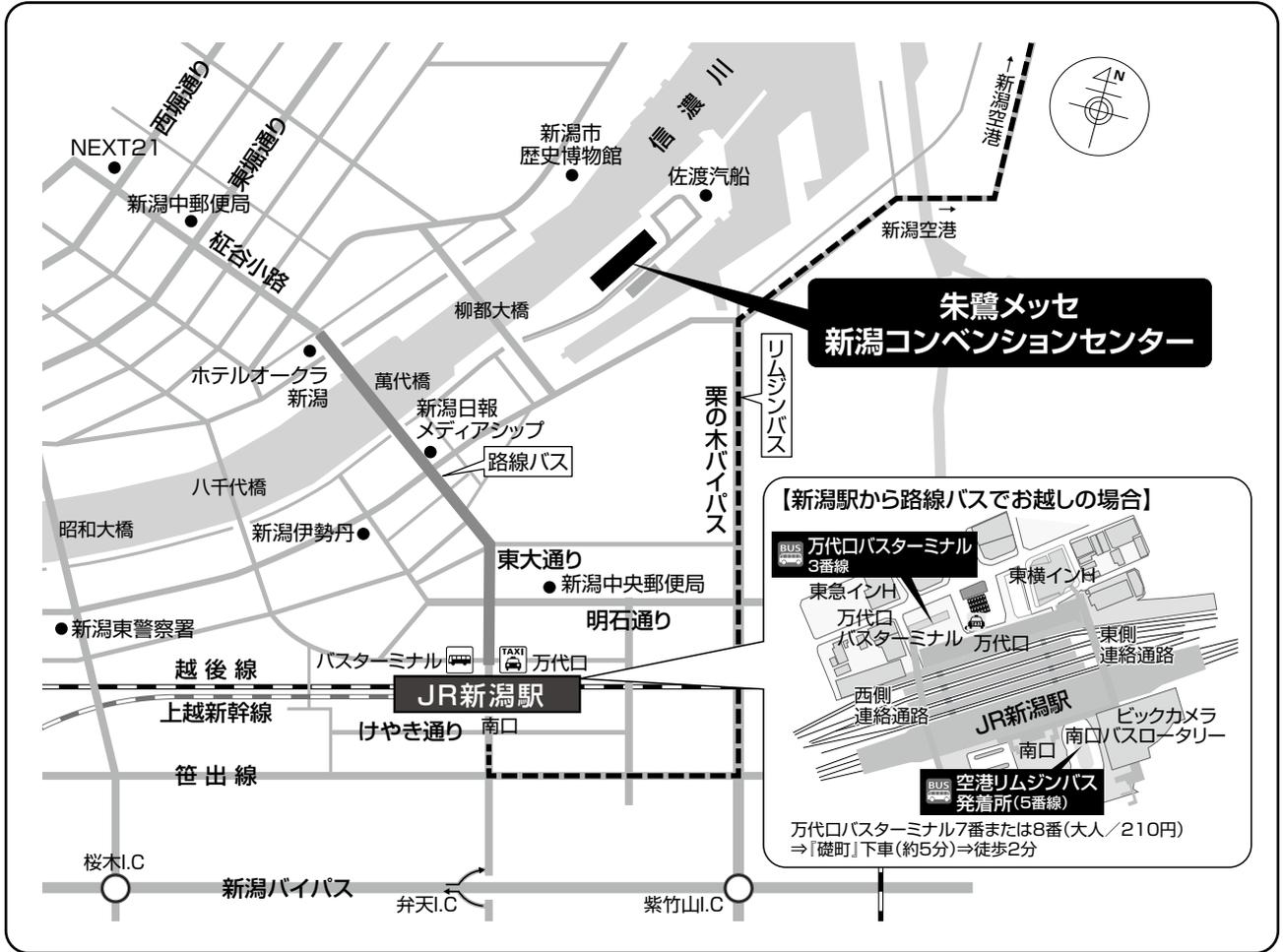
日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部

各県代表世話人

県名	氏名	本会役員	所属機関	職名
栃木県	鈴木 裕	理事	国際医療福祉大学病院 外科	医師
	佐野 渉	学術評議員	上都賀厚生農業協同組合連合会 上都賀総合病院	医師
	鈴木 正徳	正会員	社会医療法人 博愛会 菅間記念病院 名誉院長	医師
	倉科 憲太郎	学術評議員	自治医科大学 消化器一般移植外科	医師
	増田 典弘	正会員	国立病院機構 宇都宮病院	医師
	古内 三基子	正会員	自治医科大学附属病院 看護部	看護師
	渡部 義和	学術評議員	済生会宇都宮病院 薬剤情報指導課課長	薬剤部
	中田 啓二	学術評議員	上都賀総合病院 薬剤部	薬剤部
	佐藤 敏子	正会員	東都大学 管理栄養学部	栄養課
室井 幸江	正会員	国際医療福祉大学 塩谷病院	看護師	
群馬県	小川 哲史	代議員	高崎総合医療センター	医師
	中村 卓郎	代議員	公立藤岡総合病院 外科	医師
	伊東 七奈子	代議員	医療法人大誠会 内田病院	看護師
	橋場 弘武	学術評議員	公益財団法人 老年病研究所附属病院 薬剤部 部長	薬剤部
	渡邊 美鈴	正会員	公益財団法人 脳血管研究所附属 美原記念病院 栄養科	栄養課
	高坂 陽子	学術評議員	医療法人大誠会 内田病院	歯科衛生士
茨城県	寺島 秀夫	代議員	筑波大学 消化器外科	医師
	増本 幸二	代議員	筑波大学附属病院 小児外科診療	医師
	鈴木 宏昌	学術評議員	帝京平成大学 健康メディカル学部 医療科学科グループ	医師
	丸山 常彦	代議員	東京医科大学茨城医療センター 消化器外科	医師
	鴨志田 敏郎	学術評議員	(株)日立製作所 日立総合病院	医師
	松田 直美	正会員	(株)チャンス総合学院	看護師
	原信田 努	正会員	JA とりで総合医療センター 薬剤部	薬剤師
	関口 芳恵	正会員	土浦協同病院 臨床検査部	臨床検査部
	佐々木 貴子	正会員	茨城西南医療センター病院 栄養部	栄養部
埼玉県	大村 健二	代議員	上尾中央総合病院 外科	医師
	山田 博文	代議員	赤心堂病院 外科	医師
	川島 吉之	正会員	埼玉県立がんセンター 消化器外科	医師
	佐藤 弘	代議員	埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科	医師
	宇田川 洋子	正会員	小川赤十字病院 副看護部長	看護師
	長谷部 忠史	正会員	自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部 部長	薬剤部
	奥住 裕二	正会員	獨協医科大学越谷病院 臨床検査部	臨床検査部
	秋山 好美	正会員	埼玉石心会病院 コメディカル部 栄養室室長	管理栄養士

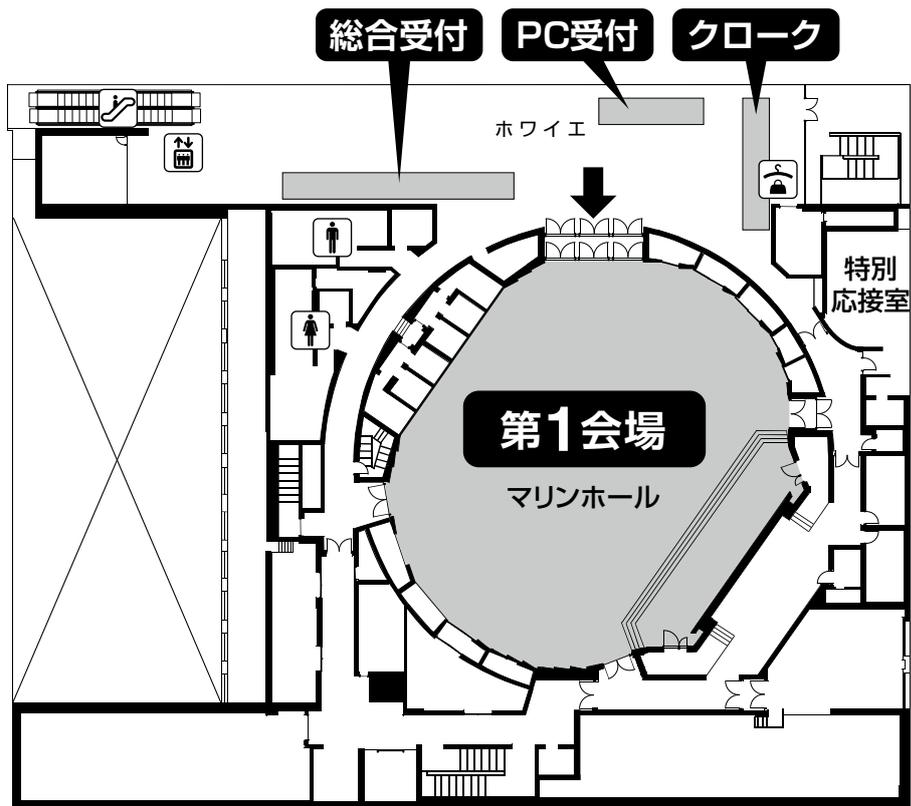
県名	氏名	本会役員	所属機関	職名
長野県	北原 修一郎	代議員	長野赤十字病院 小児外科 部長	医師
	松島 凜太郎	正会員	JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター 歯科口腔外科	医師
	小林 香	正会員	長野市民病院 医療安全管理室	看護師
	滝澤 康志	学術評議員	飯山赤十字病院 薬剤部	薬剤部
	倉島 祥子	正会員	長野赤十字病院 検査部	検査
	北澤 千枝	正会員	社会医療法人栗山会 飯田病院 管理栄養士	管理栄養士
千葉県	鍋谷 圭宏	理事	千葉県がんセンター 食道・胃腸外科	医師
	櫻井 洋一	代議員	千葉県済生会習志野病院 外科	医師
	古川 勝規	代議員	千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科	医師
	高橋 直樹	正会員	千葉県がんセンター 歯口腔(口腔診断・口腔内科)	歯科医師
	實方 由美	正会員	千葉県がんセンター 看護部	看護師
	新井 健一	正会員	千葉大学医学部附属病院 薬剤部／NST	薬剤部
	福原 麻后	正会員	千葉県こども病院 検査部 検査科	臨床検査部
	古川 聡子	正会員	千葉県済生会習志野病院 臨床栄養科／NST	管理栄養士
山梨県	中瀬 一	理事	北杜市立甲陽病院 副院長	医師
	長田 忠大	正会員	長田在宅クリニック 院長	医師
	村上 恭紀	正会員	公益財団法人山梨厚生会 山梨厚生病院 乳腺外科 医長	医師
	堀込 かずみ	正会員	北杜市立甲陽病院 医療支援部門 栄養科	管理栄養士
	荒川 元喜	正会員	山梨大学医学部附属病院 栄養管理部	栄養士
	佐藤 美和	正会員	富士吉田市立病院	看護師
	内藤 薫	正会員	北杜市立甲陽病院 リハビリテーション科	理学療法士
	浅川 浩樹	正会員	北杜市立甲陽病院 薬剤科	薬剤師
	牧 宏樹	学術評議員	市立甲府病院 薬剤部	薬剤師
新潟県	小山 諭	理事	新潟大学大学院保健学研究科	医師
	小林 純哉	正会員	JA 新潟厚生連小千谷総合病院 外科	医師
	合志 聡	正会員	新潟厚生連 上越総合病院 消化器内科 部長	医師
	矢部 正浩	正会員	新潟市民病院 総合診療内科	医師
	継田 雅美	正会員	新潟薬科大学	薬剤師
	武藤 浩司	学術評議員	新潟市民病院 薬剤部	薬剤師
	恩田 佳代子	正会員	新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院	管理栄養士
	武田 安永	正会員	新潟大学医学部総合病院	管理栄養士
	塩原 真帆	正会員	新潟大学医歯学総合病院 栄養課	管理栄養士
	小師 優子	正会員	新潟大学病院 栄養管理室	管理栄養士
	細川 学	正会員	信楽園病院 栄養科	管理栄養士

会場アクセス

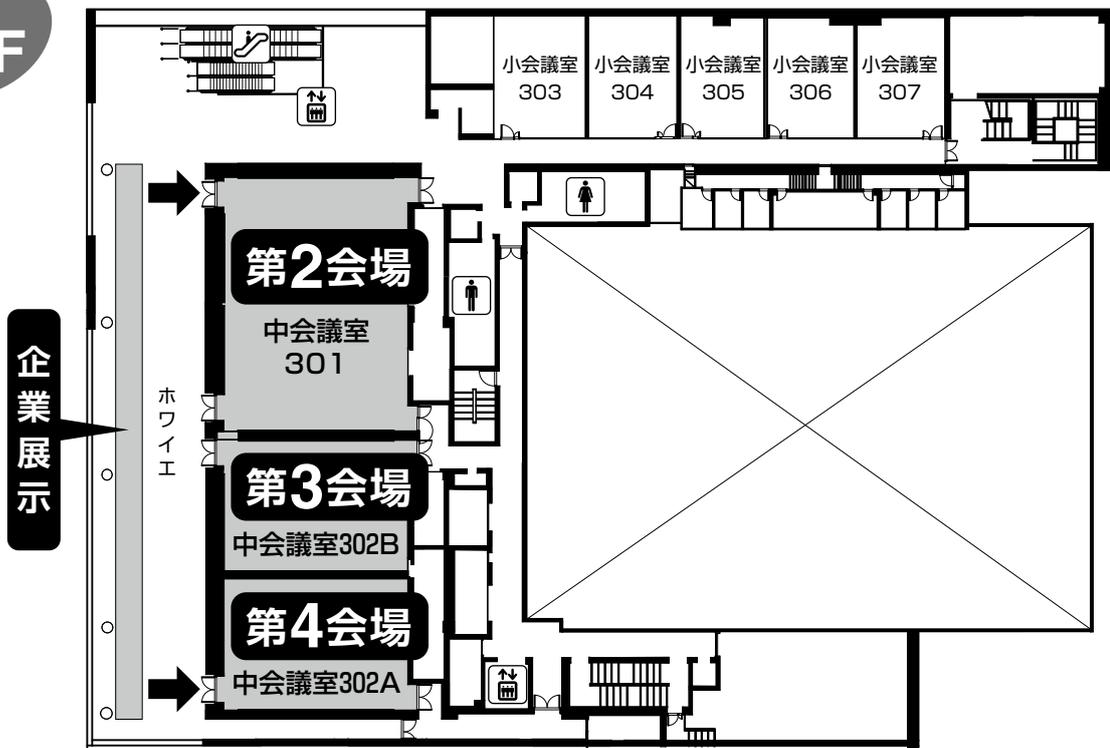


会場案内図

4F



3F



参加者・発表者・世話人の皆様へのお知らせ

I 参加者へのご案内

1 参加登録

(1) 事前参加登録をされた方へ

あらかじめ送付しております参加証(ネームカード)を必ずご持参ください。ネームホルダーは受付付近にご用意しておりますので、会期中は必ず参加証をご着用ください。着用されていない方のご入場はお断りします。

当日、事前参加登録済みの方は受付へお立ち寄りいただく必要がございません。各会場へ直接お進みいただけます。

(2) 当日参加をされる方へ

本学会に当日参加登録をされる方は、4F ホワイエ「当日参加受付」にてご登録ください。

参加費のお支払いは現金のみとさせていただきます。学生の方は学生証の提示が必要となります。

プログラム・抄録集ならびに参加証(ネームカード)をお渡ししますので、参加証には所属・氏名をご記入の上、会期中は必ずご着用ください。着用されていない方のご入場はお断りします。

日 時：9月29日(日) 8:00～15:00

場 所：4F ホワイエ

区 分	金 額
一 般(プログラム・抄録集代含む)	7,000円
学 生(プログラム・抄録集代含む)*	2,000円
プログラム・抄録集販売	2,000円

*大学院生は「学生」とします。

(3) プログラム・抄録集

事前登録が完了している方には、プログラム・抄録集をあらかじめご送付しております。

当日、有料販売(1部2,000円)もいたしますが、部数は限られておりますのでご了承ください。

(4) 単位取得について(単位に関するご不明点は各団体にお問い合わせをお願いします。)

- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士受験資格及び更新のための5単位が取得できます。
- ・日本医師会生涯教育制度における単位・カリキュラムコード取得が可能です。
- ・日本臨床衛生検査技師会生涯教育制度の単位が取得できます。
- ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度における研修3.5単位が取得できます(4F 総合受付内「単位受付」にて研修シールを配布いたします)。
- ・日本栄養士会生涯教育自己研鑽実績として申請が可能です。
- ・日本看護協会認定看護師・専門看護師・認定看護管理者更新審査の際の、自己研鑽実績として申請が可能です。
- ・日本歯科衛生士会の特別研修の単位がつきます。
- ・日本作業療法士協会のポイント付与対象 SIG として認定として認定されています。
〔所属の都道府県士会または日本作業療法士協会へ参加証明書と受講記録を提示し、受講記録へのスタンプ押印手続きとなります。〕

- 日本診療放射線技師会生涯教育認定単位が取得できます(4F 総合受付内「単位受付」にて会員番号とともに名簿に記入いただきます)。

2 ランチョンセミナーのご案内

整理券を配布いたします。ランチョンセミナーに参加を希望される方は、聴講を希望するセミナーの整理券を「ランチョンセミナー整理券配布所」にてお受け取りください。

整理券の配布は先着順となりますので、終了の際はご了承ください。

※ランチョンセミナー整理券は、ランチョンセミナーの開始 10分後に無効となります。

整理券配布時間：9月29日(日) 8:00～11:30

(なくなり次第終了、11:30以降は各会場前にて配布いたします)

配布場所：4F ホワイエ「ランチョンセミナー整理券配布所」

3 クローク

開設時間：9月29日(日) 8:00～17:00

貴重品並びにノートパソコンはお預かりできませんので、ご自身でお持ちください。

4 撮影について

会場での、許可を受けない写真撮影・録音・録画は禁止いたします。著作権の侵害となる可能性がございますので厳にお慎みください。

5 その他

(1) 会場での呼び出し

会場内での呼び出しは行いません。受付周辺に伝言板を設置いたしますので、ご利用ください。

緊急の場合は4F 総合案内にお越しください。

(2) 駐車場について

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターに有料駐車場 A～E がございます。

料金は最初の60分無料、以後30分毎100円です。

無料券、割引券の取り扱いは行っておりませんので、ご了承ください。

<http://www.tokimesse.com/visitor/parking/>

※C 駐車場は「思いやり駐車場」となります。

(3) 企業展示

3F ホワイエで企業展示を行います。

(4) インターネットサービス

会場内を除く共有スペースエリアでは無線 LAN 接続が可能です。接続先名、パスワードについては当日掲示板にてご案内いたします。

Ⅱ 座長・発表者・参加者へのご案内

1 発表者の皆様へのお願い

(1) 発表者の皆様へ

発表セッション開始60分前(朝一番のセッションは20分前)までに、PC受付にて試写をお済ませください。

PC受付：9月29日(日) 8:00～15:00 4F ホワイエ

- (2) 演者の方は、前の発表者の登壇後(1人目の場合は発表15分前までに)各会場左前方の次演者席に御着席ください。発表は、くれぐれも時間厳守でお願いします。
個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者もしくはその代理人からインフォームドコンセントを得た上で、個人が特定されないように十分留意して発表してください。

発表時間

シンポジウム1	：発表10分+総合討論30分
シンポジウム2	：発表10分+総合討論25分(冒頭：基調講演15分)
ワークショップ1	：発表8分+総合討論20分
ワークショップ2	：発表8分+総合討論20分
ワークショップ3	：発表8分+総合討論25分
一般口演	：発表6分+討論2分 計8分
企業セッション	：発表6分+討論2分 計8分
症例ディスカッション	：40分

※別途座長から指示のある場合には、上記の限りではありません。

(3) 発表形式について

発表はすべてPower PointによるPCプレゼンテーションに限ります。

〈発表データを持込まれる場合〉

本会での発表可能なデータ形式は次の通りです。

1. PC受付で用意しているPCは、Windows10(Power Point2010, 2013, 2016)です。
フォントは標準装備されているものをお使いください(MS明朝、MSゴシック、MSP明朝、MSPゴシック、Times New Roman、Century等)。
特殊なフォントを使用されますと代替フォントが使用され、レイアウトが崩れることがあります。特殊なフォントをお使いになるときは画像化し、オブジェクトとして貼り付けてください。
2. ファイル名には演題番号・筆頭演者名を入れてください。発表データに他のデータをリンクされている場合には、必ずもとのデータを同じフォルダに保存してご持参ください。
3. CD-RまたはUSBフラッシュメモリにてご持参ください。MOなどそのほかのメディアには対応していません。
4. PC受付にてコピーした発表データにつきましては、発表終了後、事務局で責任を持って削除いたします。

〈PC 本体を持込まれる場合〉

1. Macintosh をご使用の場合には、ご自身の PC 本体をお持ちください。
2. 動画をご利用の方は、必ずご自身の PC を持ちください。
3. 会場で用意する PC ケーブルコネクタの形状は MiniD-sub15 ピンです。この形状にあったノート PC をご用意いただくか、この形状に変換するケーブルを必ずご持参ください (SONY の VAIO、SHARP の Mebius、Macintosh など一部のノート PC には MiniD-sub15 ピンが装備されていませんのでご確認ください)。
4. 液晶プロジェクター解像度は XGA (1024 × 768) まで対応しています。解像度の切り替えが必要な PC はあらかじめ設定をお願いいたします。
5. PC のスリープ機能やスクリーンセーバーの設定は事前に解除してください。
6. バッテリーでの発表はトラブルの原因となりますので、AC アダプターは必ずご持参ください。
7. スムーズな進行を行うために、PowerPoint 付属機能の「発表者ツール」の使用はお控えください。
8. PC トラブルに備え、CD-R または USB フラッシュメモリに保存した発表データを別途持参ください。
9. 発表終了後、発表会場内オペレーター席にて PC をご返却いたします。

(4) 利益相反 (COI) の開示について

全てのご発表に関しまして、スライド中での COI の開示をお願いいたします。

開示すべき COI が「ある場合」も「無い場合」も、講演スライドの2枚目(タイトルの次のスライド)で、その旨をご申告ください。

テンプレートは、第7回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会のホームページ内「利益相反」に掲載されております。<https://admedic.co.jp/jspen2019/coi.html>

2 座長の先生方へ

- セッション開始10分前までに、担当いただきます会場の右前方にある次座長席にお着きください。
- 司会(座長)席および演台に時間経過を表示するタイマーを設置いたします。
時間厳守をお願いいたします。

3 参加者の皆様へ

質疑をされる場合、座長の許可を受けた上で、所属、氏名を明らかにしてから討論をはじめてください。

また、次質問者は討論マイクの前まで移動してお待ちください。

	第1会場 4F マリンホール	第2会場 3F 中会議室301	第3会場 3F 中会議室302B	第4会場 3F 中会議室302A	展示会場 3Fホワイエ
8:30					
9:00	8:55～ 開会の言葉 9:00～10:20 シンポジウム 1 フレイル・サルコペニアの予防 座長：中瀬 一 佐藤 美和 コメンテーター：橋場 弘武	9:25～10:35 ワークショップ 1 周術期の栄養療法 座長：丸山 常彦 佐々木 貴子 コメンテーター：古川 勝規	9:30～11:00 ワークショップ 3 栄養評価と対策 座長：増本 幸二 福原 麻后 コメンテーター：小林 純哉	9:45～10:25 企業セッション 1 安全な栄養管理のために 座長：中田 啓二 滝澤 康志 コメンテーター：鈴木 宏昌	9:00 ～ 16:00 企 業 展 示
10:00	10:30～11:50 シンポジウム 2 リハ栄養の工夫と注意点 座長：矢部 正浩 森田 幸太郎 コメンテーター：内藤 薫	10:40～11:50 ワークショップ 2 がん患者に対する 栄養療法 座長：川島 吉之 佐藤 弘 コメンテーター：鍋谷 圭宏	11:05～11:55 一般口演 2 嚥下障害・口腔内ケア 座長：寺島 秀夫 高坂 陽子 コメンテーター：松島 凜太郎	10:30～11:35 企業セッション 2 経腸栄養を 推進するために 座長：長谷部 忠史 小林 香 コメンテーター：鈴木 裕	
11:00					
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 1 経腸栄養のリスクマネジメント -殊に高齢者の適切な栄養 管理を目指して- 座長：小川 哲史 演者：田中 芳明 共催：株式会社 大塚製薬工場/ イーエヌ大塚製薬株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 2 消化器疾患に対する体 組成評価と予後、さらに 健康寿命延伸を目指し た先制医療について 座長：合志 聡 演者：寺井 崇二	12:00～13:00 ランチョンセミナー 3 胃癌に対する免疫 チェックポイント阻害薬 を用いた治療 -実臨床 における効果と課題- 座長：小林 由夏 演者：保坂 尚志	12:00～13:00 ランチョンセミナー 4 脳卒中における 急性期から慢性期 までの栄養管理 座長：阿部 博史 演者：森田 幸太郎 共催：テルモ株式会社	
13:00	13:05～13:15 総会 13:15～13:55 症例ディスカッション 1 modulator：鍋谷 圭宏 實方 由美 演者：上村 博輝	共催：第一三共株式会社 13:15～13:55 症例ディスカッション 2 modulator：中村 卓郎 渡邊 美鈴 演者：浦野 敦	共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 / 小野薬品工業株式会社 13:15～13:55 症例ディスカッション 3 modulator：尾花 和子 宇田川 洋子 演者：北原 修一郎	13:15～13:55 症例ディスカッション 4 modulator：倉科 憲太郎 佐藤 敏子 演者：野尻 俊介	
14:00	14:00～15:00 企画講演 水・膈外分泌機能制御による 消化器症状の管理について 座長：大村 健二 演者：寺井 崇二 共催：マイラン EPD 合同会社	14:00～15:00 第1会場 企画講演 サテライト			
15:00	15:10～16:40 スポンサーシンポジウム 在宅における多職種連携 ～健康寿命の延伸を見据えて～ 座長：北原 修一郎 斎藤 忠雄 演者：斎藤 忠雄 牧野 令子 小黑 佳代子 共催：アボットジャパン株式会社 16:40～ 閉会の言葉	15:05～16:20 一般口演 1 NSTの力 座長：牧 宏樹 伊東 七奈子 コメンテーター：横山 純二	15:05～15:55 一般口演 3 経腸栄養の工夫 座長：高橋 直樹 渡部 義和 コメンテーター：櫻井 洋一		
16:00			16:00～16:40 一般口演 4 経腸栄養の注意点 座長：荒川 元喜 原信田 努 コメンテーター：鈴木 正徳		
17:00					

プログラム

2019年9月29日(日) 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

第1会場(4F マリンホール)

8:55～ **開会の言葉**

9:00～10:20 **シンポジウム1**

[フレイル・サルコペニアの予防]

座長：中瀬 一 (北杜市立甲陽病院)

佐藤 美和(富士吉田市立病院)

コメンテーター：橋場 弘武(公益財団法人 老年病研究所附属病院 薬剤部)

S1-1 回復期リハビリテーション患者入棟時の食欲は栄養状態と関連する

永井 徹 新潟医療福祉大学 健康栄養学科

S1-2 膵頭十二指腸切除術後合併症における EWGSOP の定義に基づいたサルコペニアの影響の検討

青木 優 千葉大学大学院 医学研究院 臓器制御外科学

S1-3 BMI・CRP からみた入院中の転倒症例に関する検討

中瀬 一 北杜市立甲陽病院 外科

S1-4 新潟地域におけるフレイル・サルコペニア予防活動の取り組み

遠藤 沙保里 社会医療法人 桑名恵風会 桑名病院

10:30～11:50 **シンポジウム2**

[リハ栄養の工夫と注意点]

座長：矢部 正浩 (新潟市民病院 総合診療内科)

森田 幸太郎(社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 脳神経外科)

コメンテーター：内藤 薫 (北杜市立甲陽病院 リハビリテーション科)

基調講演 リハビリテーション栄養と急性期病院の栄養サポートチームとしての関わり

矢部 正浩 新潟市民病院総合診療内科・栄養サポートチーム

S2-1 リハ薬剤の考え方と関わり方

牧 宏樹 市立甲府病院 薬剤部

S2-2 低栄養とサルコペニアを合併した大腿骨転子部骨折患者に対するリハビリテーション栄養ケアプロセスの一例

野崎 彰子 魚沼市立小出病院 栄養科

S2-3 栄養科との連携で在院日数43%短縮した

内藤 薫 北杜市立甲陽病院 リハビリテーション科

S2-4 血液透析患者のロコモティブシンドロームに対する
ロイシン、ビタミンD強化補助食品の効果

北林 紘 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎・膠原病内科

12:00～13:00 **ランチョンセミナー1**

座長：小川 哲史(独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター 統括診療部長)

LS1 経腸栄養のリスクマネジメント
— 殊に高齢者の適切な栄養管理を目指して —

田中 芳明 久留米大学医学部外科学講座 小児外科部門 教授
久留米大学医学部附属病院 副院長 医療安全管理部部长

共催：株式会社 大塚製薬工場 / イーエヌ大塚製薬株式会社

13:05～13:15 **総 会**

13:15～13:55 **症例ディスカッション1**

Modulator：鍋谷 圭宏(千葉県がんセンター 食道・胃腸外科)
實方 由美(千葉県がんセンター 看護部)

CD1 Nutrition Support Team による低栄養状態における
消化器疾患の拾い上げ

上村 博輝 新潟大学医歯学総合病院 消化器内科分野

14:00～15:00 **企画講演**

座長：大村 健二(上尾中央総合病院 外科 診療顧問 外科専門研修センター センター長)

PL 水・膵外分泌機能制御による消化器症状の管理について

寺井 崇二 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野 教授
新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センターセンター長
光学医療診療部部长, 栄養管理部部长

共催：マイラン EPD 合同会社

[**在宅ケアにおける多職種連携 ～健康寿命の延伸を見据えて～**]

座長：北原 修一郎（日本赤十字社 長野赤十字病院 小児外科 部長）

齋藤 忠雄 （在宅療養支援診療所・緩和ケア診療所 齋藤内科クリニック 院長）

SS1 **健康寿命延伸は「食べる」と「社会参加」がキーワード**

齋藤 忠雄 在宅療養支援診療所・緩和ケア診療所 齋藤内科クリニック 院長

SS2 **管理栄養士による栄養ケア活動 ～在宅支援アラカルト～**

牧野 令子 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション コーディネーター

SS3 **薬局薬剤師の視点から見た他職種連携**

小黒 佳代子 株式会社ファーマ・プラス 専務取締役

共催：アボットジャパン株式会社

9:25～10:35 **ワークショップ1**

[周術期の栄養療法]

座長：丸山 常彦（東京医科大学茨城医療センター 消化器外科）

佐々木 貴子（茨城西南医療センター病院 栄養部）

コメンテーター：古川 勝規（千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科）

WS1-1 胃癌手術患者の栄養状態とサルコペニアの有無の検討

塩澤 由起子 独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター NST

WS1-2 肝細胞癌手術症例における骨格筋量と短期および長期成績の関連

丸山 常彦 東京医科大学茨城医療センター 消化器外科

WS1-3 胸部食道癌に対する周術期早期回復プログラムの課題

佐藤 弘 埼玉医科大学 国際医療センター 消化器外科

WS1-4 膵切除患者に対して多職種連携チーム PRACTICE が作成した患者支援プログラムに沿って介入した一例

林 大輝 長岡赤十字病院 栄養課

WS1-5 がん専門病院における周術期口腔ケアの取り組み

八木原 一博 埼玉県立がんセンター 歯科口腔外科

10:40～11:50 **ワークショップ2**

[がん患者に対する栄養療法]

座長：川島 吉之（埼玉県立がんセンター 消化器外科）

佐藤 弘（埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科）

コメンテーター：鍋谷 圭宏（千葉県がんセンター 食道・胃腸外科）

WS2-1 80歳以上の高齢者進行胃癌手術患者の栄養と手術成績

川島 吉之 埼玉県立がんセンター NST

WS2-2 化学放射線療法において PTEG が有用であった進行食道癌の1例

岸 綾香 国立病院機構 高崎総合医療センター 栄養サポートチーム

WS2-3 mTOR 阻害剤は蛋白同化を抑制するのか

内田 信之 原町赤十字病院 NST

WS2-4 化学療法時の食欲不振に対する食事量増加へ向けての取り組み

村山 有美 東京医科大学茨城医療センター

WS2-5 抗癌剤治療中の消化器系癌患者の栄養状態の現状と経口的栄養補助(ONS)による介入

合志 聡 新潟厚生連 上越総合病院 消化器内科

WS2-6 緩和ケア病棟入棟時の Glasgow prognostic score (GPS) を用いた 栄養サポートの検討

長橋 拓 新潟県立がんセンター新潟病院 栄養課

12:00～13:00 ランチョンセミナー2

座長：合志 聡（新潟厚生連 上越総合病院 消化器内科 部長
新潟大学医学部医学科 臨床 准教授）

LS2 消化器疾患に対する体組成評価と予後， さらに健康寿命延伸を目指した先制医療について

寺井 崇二 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野 教授
新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センターセンター長
光学医療診療部部長，栄養管理部部長

共催：第一三共株式会社

13:15～13:55 症例ディスカッション2

Modulator：中村 卓郎（公立藤岡総合病院 外科）
渡邊 美鈴（公益財団法人 脳血管研究所附属 美原記念病院 栄養科）

CD2 漸増したにも拘わらず Refeeding Syndrome を発症した一例

浦野 敦 東邦大学医療センター佐倉病院 NST

14:00～15:00 第1会場企画講演サテライト

15:05～16:20 一般口演1

[NST の力]

座長：牧 宏樹 （市立甲府病院 薬剤部）
伊東 七奈子（医療法人大誠会 内田病院）
コメンテーター：横山 純二 （新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野）

01-1 体重増加抑制目的に NST 介入を行った重症心身障害の乳児例

大谷 清香 埼玉医科大学病院 NST

01-2 当院における IBD サポートワーキングチームの取り組みと今後の課題

千木良 彩華 伊勢崎市民病院 栄養科

01-3 静脈栄養の適正化にむけた当院における取り組み

有路 亜由美 AMG 上尾中央総合病院 薬剤部

- 01-4** 薬剤師が作成した新しい栄養治療実施計画書
鬼澤 郁人 東京医科大学 茨城医療センター
- 01-5** 当院における APS チームの活動報告について
田中 美香 独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
- 01-6** 当院における NST 回診の現状と課題
田村 健 誠馨会 千葉メディカルセンター NST
- 01-7** NST が考える多職種連携 ―システムの有効活用―
関口 芳恵 総合病院土浦協同病院 NST
- 01-8** NST が考える多職種連携 ―栄養管理体制―
富島 洋子 総合病院土浦協同病院 NST
- 01-9** NST 介入効果の検討
杉山 かえで 社会福祉法人 恩賜財団 済生会 済生会新潟病院 診療第1部 栄養科

9:30～11:00 **ワークショップ3**

[**栄養評価と対策**]

座長：増本 幸二(筑波大学附属病院 小児外科診療グループ)

福原 麻后(千葉県こども病院 検査部 検査科)

コメンテーター：小林 純哉(JA 新潟厚生連小千谷総合病院 外科)

WS3-1 入院時支援加算対象者における管理栄養士の介入

鶴田 恵 新潟大学医歯学総合病院 栄養管理部

WS3-2 摂食障害患者(神経性やせ症)における蓄積余剰エネルギーと体重増加量の検討

岩部 博子 筑波大学附属病院 病態栄養部

WS3-3 蛋白充足率からみたNST介入評価

野上 裕介 自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部

WS3-4 亜鉛の基準値変更の検討と影響

倉島 祥子 長野赤十字病院 NST 検査部

WS3-5 血清銅低値が持続した一症例

高橋 直樹 千葉県がんセンター NST

WS3-6 新生児期に銅欠乏性貧血を呈した腸閉鎖症の2例

佐々木 理人 筑波大学 医学医療系 小児外科

WS3-7 PPI長期服用患者における血中Mg・Ca・PTH値の検討

静間 徹 東海大学 医学部 生体構造機能学

WS3-8 院内セレン製剤の使用状況調査 —7施設における検討

増本 幸二 筑波大学医学医療系 小児外科

11:05～11:55 **一般口演2**

[**嚥下障害・口腔内ケア**]

座長：寺島 秀夫 (筑波大学 消化器外科)

高坂 陽子 (医療法人大誠会 内田病院)

コメンテーター：松島 凜太郎(JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター 歯科口腔外科)

O2-1 特発性輪状咽頭筋弛緩不全による嚥下困難症の一例

我妻 将喜 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 耳鼻咽喉科

O2-2 胃瘻による経管栄養から経口摂取可能となった症例
—嚥下障害のある脳梗塞後遺症患者への関わり方—

岡村 真由美 魚沼市立小出病院 NST 委員会

- O2-3** 栄養状態の改善と継続的な訓練により、安定した経口摂取を確立した1例
伊澤 季美香 伊那中央病院 リハビリテーション技術科
- O2-4** 誤嚥性肺炎患者の身体計測値（AC，CC）の値と摂食・嚥下能力の
グレードについて
木村 将典 高崎総合医療センター NST
- O2-5** 薬剤性嚥下障害が疑われた症例に対する多職種連携と、
薬学的介入が有用だった一例
山田 史江 公益財団法人 筑波メディカルセンター病院 診療技術部薬剤科
- O2-6** 新潟県における看護師の口腔アセスメントと口腔ケアの現状と課題
菊池 裕子 新潟大学 保健学研究科 看護学分野

12:00～13:00 **ランチョンセミナー3**

座長：小林 由夏（新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院 消化器内科 部長）

LS3 胃癌に対する免疫チェックポイント阻害薬を用いた治療
—実臨床における効果と課題—

保坂 尚志 群馬県立がんセンター消化器内科・内視鏡部 部長

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／小野薬品工業株式会社

13:15～13:55 **症例ディスカッション3**

Modulator：尾花 和子（埼玉医科大学病院 小児外科）
宇田川 洋子（小川赤十字病院）

CD3 低亜鉛血症の原因が高銅血症であったため
酢酸亜鉛の大量投与を行った2例

北原 修一郎 長野赤十字病院 NST 小児外科

[経腸栄養の工夫]

座長：高橋 直樹(千葉県がんセンター 歯口科(口腔診断・口腔内科))

渡部 義和(済生会宇都宮病院 薬剤情報指導課)

コメンテーター：櫻井 洋一(千葉県済生会習志野病院 外科)

03-1 早期経口摂取が困難で経鼻胃管による経腸栄養を実施した誤嚥性肺炎3例

鈴木 智絵 医療法人社団善仁会小山記念病院 NST

03-2 閉塞性動脈硬化症による下腿切断術後に併発した食思不振・嘔吐に対して経鼻栄養が著効した一例

平井 優 蕪崎市立病院

03-3 短腸症候群を来した患者に対し成分栄養剤から半消化態栄養剤への変更により患者 QOL が改善した一症例

宮澤 誠 新潟大学医歯学総合病院 NST

03-4 胃切除後の重症胃食道逆流症の病態に PTEG を応用した栄養管理が有効であった1例

森谷 宏光 独立行政法人国立病院機構相模原病院 外科

03-5 腸瘻排液の自動持続注入システムを工夫し奏功した2例

千葉 史子 筑波大学医療系 小児外科

03-6 当院における W-ED チューブの使用経験

森山 由貴 茨城西南医療センター病院 消化器外科

[経腸栄養の注意点]

座長：荒川 元喜(山梨大学医学部附属病院 栄養管理部)

原信田 努(JA とりで総合医療センター 薬剤部)

コメンテーター：鈴木 正徳(社会医療法人 博愛会 菅間記念病院)

04-1 胃癌術後の経腸栄養が契機と考えられた門脈ガス血症の1例

船水 尚武 葛西昌医会病院

04-2 前交通動脈瘤頸部クリッピング術施行後の透析患者で嘔吐を繰り返した症例

秋山 好美 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院 栄養部

04-3 持続する嘔吐に対しスルピリドが著効した筋ジストロフィー患者の一例

倉島 裕子 新潟市民病院

04-4 経腸栄養剤とワルファリンの相互作用：2例の症例報告

佐藤 則泰 医療法人愛広会 豊浦病院 薬剤部

O4-5 経腸栄養剤とワルファリンの相互作用：ホエイ由来のタンパク質との相互作用

中川 沙織 新潟薬科大学

O4-6 栄養管理とリハビリにより褥瘡とサルコペニアは改善したが、
その後の体重管理に苦慮した一例

大竹 祐子 新潟県厚生連 小千谷総合病院 栄養科

9:45～10:25 企業セッション 1

[安全な栄養管理のために]

座長：中田 啓二(上都賀総合病院 薬剤部)

滝澤 康志(飯山赤十字病院 薬剤部)

コメンテーター：鈴木 宏昌(帝京平成大学健康メディカル学部 医療科学科)

ES1-1 末梢静脈栄養輸液へのビタミン B₁ 配合意義について

原田 大輔 株式会社大塚製薬工場 研究開発センター 鳴門研究所 臨床栄養研究室

ES1-2 経腸栄養におけるポンプ(TOP-A600)使用の有用性と今後の展望

宮崎 英人 株式会社トップ 営業本部

ES1-3 イディアルシース PEG キット

～シースダイレータを用いた Introducer 変法をより簡便に～

吉田 健悟 オリパス株式会社

ES1-4 PTEG の概要と相互接続防止コネクタに係る国際規格の導入への対応状況

小城 康雅 住友ベークライト株式会社

ES1-5 より安全性を高めるデバイスの工夫

内藤 寿彦 日本コヴィディエン株式会社

10:30～11:35 企業セッション 2

[経腸栄養を推進するために]

座長：長谷部 忠史(自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部)

小林 香 (長野市民病院 医療安全管理室)

コメンテーター：鈴木 裕 (国際医療福祉大学病院 外科)

ES2-1 慢性便秘症治療薬 アミティーザカプセル 24 μ g/12 μ g について

荒蒔 亮太 マイラン EPD 合同会社

ES2-2 流動食に含まれる食物繊維の基礎的な物理化学的性質

西谷 弘 テルモ株式会社 ホスピタルカンパニー

ES2-3 ケトン食はマウス腹膜播種モデルにおいて腫瘍退縮を誘導せずに
予後を改善する

鹿住 栄二 イーエヌ大塚製薬株式会社 研究開発本部 開発研究所

ES2-4 オリゴ糖または水溶性食物繊維摂取が尿毒物質および
腸内細菌叢に与える影響の違い

守田 俊介 森永乳業株式会社 健康栄養科学研究所

ES2-5 大建中湯の腹部膨満感に対する作用について

遠藤 奈央 株式会社ツムラ

ES2-6 新規便秘症治療薬ラグノス NF ゼリーのエビデンス

内牧 弘祐 株式会社三和化学研究所 医薬品事業部

ES2-7 慢性便秘症治療薬グーフイス®錠5mg
(胆汁酸トランスポーター阻害剤)の特徴

佐藤 道嗣 持田製薬株式会社 医薬営業本部 情報支援

ES2-8 慢性便秘治療薬リンゼスの有効性・安全性と貢献が期待される
具体的な症例像について

三浦 望 アステラス製薬株式会社 営業本部プロダクトマーケティング部
領域第2グループ

12:00～13:00 **ランチョンセミナー4**

座長：阿部 博史 (医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院 副院長)

LS4 脳卒中における急性期から慢性期までの栄養管理

森田 幸太郎 社会医療法人 桑名恵風会 桑名病院 脳神経外科 部長

共催：テルモ株式会社

13:15～13:55 **症例ディスカッション4**

Modulator：倉科 憲太郎 (自治医科大学 消化器一般移植外科)
佐藤 敏子 (東都大学 管理栄養学部)

CD4 先天性成長障害に随伴した上腸間膜動脈症候群症例に対して
経鼻経管栄養管理を行った一例

野尻 俊介 新潟大学医歯学総合病院 消化器内科学分野

企 画 講 演

PL 水・膵外分泌機能制御による消化器症状の管理について

寺井 崇二

新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野 教授
 新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センターセンター長
 光学医療診療部部长, 栄養管理部部長



消化器臓器は、消化、吸収、代謝を制御する臓器であり、その正常な働きには、臓器の恒常性維持が重要である。昨今、慢性膵炎患者の増加や膵切除件数の増加などに伴い、膵外分泌機能不全を呈する患者は増加傾向にある。今回は、慢性膵炎治療についてのポイントと慢性膵炎の非代償期にみられる栄養不良状態、膵外分泌機能不全についても触れてみたい。

膵疾患に伴う症状は腹痛、背部痛などの臨床症状、膵内外分泌障害に伴う症状があるが、患者がこれらの症状＝膵疾患と思うことは少ない。

今回の講演では患者が発信している痛みや栄養障害・便の異常と膵消化酵素補充療法の治療のコツを解説する。また一方で、便秘症も問題になっている。慢性便秘症のある人の生存率は低下する。その治療として、大腸内水分増加を誘導する薬剤も使われるようになってきた。水・膵機能制御による消化器機能の恒常性維持は今後重要である。

略 歴

学 歴

平成9年2月	山口大学大学院医学研究科 修了
平成10年7月～平成12年7月	アメリカ国立癌研究所(客員研究員)
平成22年4月～平成26年12月	山口大学大学院 医学系研究科 消化器病態内科学分野 准教授 山口大学医学部附属病院 第一内科 副科長
平成24年5月～平成26年4月	公益財団法人先端医療研究財団 先端医療センター病院 肝再生科部長
平成27年1月1日～	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野 教授
平成28年4月1日～	新潟大学医歯学総合病院 光学医療診療部部长 栄養管理部部長
平成31年4月～	新潟薬科大学 客員教授
令和元年5月～	中国遵義医科大学 客員教授

資 格

日本消化器病学会 甲信越支部 支部長, 再生医療研究推進委員会 委員長, 財団評議員
 日本肝臓学会 評議員
 日本消化器内視鏡学会 社団評議員, 甲信越支部幹事
 日本再生医療学会 理事, 代議員
 日本内科学会 評議員
 日本肥満学会 評議員 他, 資格多数

所属学会

日本内科学会, 日本消化器病学会, 日本肝臓学会, 日本消化器内視鏡学会, 日本膵臓学会, 日本癌学会, 日本再生医療学会, 日本生化学会, 日本分子生物学会, 日本肝臓研究会, 日本肥満学会, 日本肥満症治療学会

第7回 日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会
プログラム・抄録集

会 長：小山 諭

事 務 局：新潟大学大学院保健学研究科内
〒951-8518 新潟市中央区旭町通2番町746番地
TEL：025-227-2361 FAX：025-227-2361

運営事務局：株式会社 アド・メディック内
〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野310番地
TEL：025-282-7035 FAX：025-282-7048
E-mail：jспен2019@admedic.co.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>